議 事 録

会議の名称	令和4年度登米市農業委員会第5回総会																																																
開催日時	令和4年8月25日（木） 午後1時30分 開会 午後3時30分閉会																																																
開催場所	中田庁舎3階 旧議場																																																
議長の名氏	高橋 清範 会長																																																
出席者（委員）の氏名	<table border="0"> <tr> <td>1番</td> <td>岩 淵 勉</td> <td>2番</td> <td>佐々木 まき子</td> <td>3番</td> <td>櫻 井 利 光</td> </tr> <tr> <td>4番</td> <td>菅 原 浩 之</td> <td>5番</td> <td>田 島 幹 雄</td> <td>6番</td> <td>阿 部 晃 徳</td> </tr> <tr> <td>7番</td> <td>柴 崎 専 一</td> <td>8番</td> <td>佐 藤 瑛 彦</td> <td>9番</td> <td>鈴 木 巖</td> </tr> <tr> <td>10番</td> <td>佐 藤 幸 治</td> <td>11番</td> <td>松 野 秀 郎</td> <td>12番</td> <td>阿 部 静 男</td> </tr> <tr> <td>13番</td> <td>鈴 木 泰 子</td> <td>14番</td> <td>浅 野 和 宏</td> <td>15番</td> <td>五 十 嵐 幸 喜</td> </tr> <tr> <td>16番</td> <td>尾 張 勝 二</td> <td>17番</td> <td>芳 村 忠 市</td> <td>18番</td> <td>三 塚 芳 毅</td> </tr> <tr> <td>19番</td> <td>芳 賀 秀 二</td> <td>20番</td> <td>小野寺 義 幸</td> <td>21番</td> <td>佐 藤 久 順</td> </tr> <tr> <td>22番</td> <td>上 野 栄 公</td> <td>23番</td> <td>門 馬 一 郎</td> <td>24番</td> <td>高 橋 清 範</td> </tr> </table> <p>（は欠席委員、は遅参委員、は早退委員）</p>	1番	岩 淵 勉	2番	佐々木 まき子	3番	櫻 井 利 光	4番	菅 原 浩 之	5番	田 島 幹 雄	6番	阿 部 晃 徳	7番	柴 崎 専 一	8番	佐 藤 瑛 彦	9番	鈴 木 巖	10番	佐 藤 幸 治	11番	松 野 秀 郎	12番	阿 部 静 男	13番	鈴 木 泰 子	14番	浅 野 和 宏	15番	五 十 嵐 幸 喜	16番	尾 張 勝 二	17番	芳 村 忠 市	18番	三 塚 芳 毅	19番	芳 賀 秀 二	20番	小野寺 義 幸	21番	佐 藤 久 順	22番	上 野 栄 公	23番	門 馬 一 郎	24番	高 橋 清 範
1番	岩 淵 勉	2番	佐々木 まき子	3番	櫻 井 利 光																																												
4番	菅 原 浩 之	5番	田 島 幹 雄	6番	阿 部 晃 徳																																												
7番	柴 崎 専 一	8番	佐 藤 瑛 彦	9番	鈴 木 巖																																												
10番	佐 藤 幸 治	11番	松 野 秀 郎	12番	阿 部 静 男																																												
13番	鈴 木 泰 子	14番	浅 野 和 宏	15番	五 十 嵐 幸 喜																																												
16番	尾 張 勝 二	17番	芳 村 忠 市	18番	三 塚 芳 毅																																												
19番	芳 賀 秀 二	20番	小野寺 義 幸	21番	佐 藤 久 順																																												
22番	上 野 栄 公	23番	門 馬 一 郎	24番	高 橋 清 範																																												
事務局職員職氏名	<p>説明員：農業委員会事務局 事務局長 遠藤 貞、事務局次長 小泉 一誠 農地管理係 主幹兼係長 伊藤 裕美、主幹 佐藤 聡、主査 千葉 貴行、 主事 三浦 翼</p> <p>書記：農業委員会事務局 主幹兼農地管理係長 伊藤 裕美</p>																																																
議 題	報告第16号 農地法第18条第6項の規定による届出について 報告第17号 使用貸借権の合意解約について 報告第18号 農地の現状変更届出について 報告第19号 農地基本台帳新規（補正）登載申請について 議案第33号 農地法第3条の規定による許可申請について 議案第34号 農地法第4条の規定による許可申請に対する意見の決定について 議案第35号 農地法第5条の規定による許可申請に対する意見の決定について 議案第36号 非農地証明願について 議案第37号 農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の決定について 議案第38号 農地利用状況調査に伴う非農地の判断について																																																
会議結果	議案第33号 申請のとおり許可することに決定した。 議案第34号 許可相当との意見を付すこととした。 議案第35号 許可相当との意見を付すこととした。																																																

	<p>議案第 36 号 願出のとおり証明することに決定した。</p> <p>議案第 37 号 原案のとおり決定した。</p> <p>議案第 38 号 原案のとおり決定した。</p>
会議の概要	下記のとおり
会議資料	<p>令和 4 年度登米市農業委員会第 5 回総会資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議案書 ・ 議案説明資料 ・ 農地法第 3 条調査書 ・ 諸般の報告
発言者	議題・発言・結果
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつ ・ 議案説明のための出席説明員及び書記の報告
議長	<p>日程第 1、「議事録署名委員の指名」を行います。</p> <p>議事録署名委員は、会議規則第 38 条第 2 項の規定により、5 番 田島 幹雄 委員、6 番 阿部 晃徳 委員を指名します。</p>
議長	<p>日程第 2、「会期の決定」を議題といたします。</p> <p>お諮りします。本総会の会期は、本日 1 日間としたいと思えます。</p> <p>これにご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">《異議なしの声を確認》</p>
議長	<p>異議なしと認めます。</p> <p>よって本総会の会期は、本日 1 日間とすることに決定しました。</p>
議長	<p>日程第 3、「諸般の報告」を行います。</p> <p>諸般の報告は、お手元に配布しております別紙報告書のとおりです。</p> <p>これで諸般の報告を終わります。</p>
議長	<p>日程第 4、報告第 16 号「農地法第 18 条第 6 項の規定による届出について」を議題とします。</p> <p>事務局から説明を求めます。</p> <p style="text-align: center;">《事務局説明》</p>
議長	<p>説明が終わりました。</p> <p>これで、報告第 16 号を終わります。</p>
議長	<p>日程第 5、報告第 17 号「使用貸借権の合意解約について」を議題とします。</p>

議長	<p>事務局から説明を求めます。</p> <p>《事務局説明》</p>
議長	<p>説明が終わりました。</p> <p>これで、報告第 17 号を終わります。</p>
議長	<p>日程第 6、報告第 18 号「農地の現状変更届出について」を議題とします。</p> <p>事務局から説明を求めます。</p> <p>《事務局説明》</p>
議長	<p>説明が終わりました。</p> <p>これで、報告第 18 号を終わります。</p>
議長	<p>日程第 7、報告第 19 号「農地基本台帳新規（補正）登載申請について」を議題とします。</p> <p>事務局から説明を求めます。</p> <p>《事務局説明》</p>
議長	<p>説明が終わりました。</p> <p>これで、報告第 19 号を終わります。</p>
議長	<p>日程第 8、議案第 33 号「農地法第 3 条の規定による許可申請について」を議題とします。</p> <p>事務局から説明を求めます。</p> <p>《事務局説明》</p>
事務局	<p>本議案に係る許可要件は、別紙「農地法第 3 条調査書」により確認しております。</p> <p>進行番号 1 番については、調査結果 1 となります。</p> <p>法第 3 条第 2 項第 1 号の「全部効率利用」については、譲受人の経営農地は全て耕作されており、基幹作業については一部を作業委託し、耕作の事業に供すべき農地の全てを効率的に利用できるものと見込まれます。</p> <p>第 2 号については、譲受人は個人であり適用はありません。</p> <p>第 3 号についても、譲託ではないため適用はありません。</p> <p>第 4 号の農作業への常時従事については、譲受人は農作業を行う必要がある日数について農作業に従事すると見込まれます。</p> <p>第 5 号の下限面積については、50 アールを超えることから適用はありません。</p> <p>第 6 号の転貸禁止については、所有権の移転であり、転貸にはあたりません。</p>

事務局	<p>進行番号2番以降については、別紙調査書に記載のとおりで、法第3条第2項各号には該当せず、許可要件の全てを満たしていると思われます。</p> <p>また、第7号の地域との調和要件については、申請地の担当農業委員に資料を送付し、事前に現地の確認をお願いしておりますので、ご報告いただきたいと思ひます。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
議長	<p>説明が終わりました。</p> <p>ここで、現地調査委員から調査結果の報告を求めます。</p> <p>第1分科会の報告を登壇してお願いいたします。</p> <p>6番 阿部 晃徳 委員</p>
6番委員	<p>登米市農業委員会第1分科会に係る現地確認調査は、令和4年8月22日、午後1時30分から委員3名により、事務局職員の案内で実施いたしました。その調査結果について報告します。</p> <p>農地法第3条の進行番号3番については、別紙議案説明資料1ページから18ページに記載されているとおりです。</p> <p>申請内容は、栗原市瀬峰に居住する賃貸人の所有する登米市迫町新田地内の農地で、議案第35号、進行番号3番で申請されている営農型太陽光発電設備の下部を賃借人の農業法人が借り受け、耕作を行うものです。</p> <p>賃借人は、水稻や小麦、野菜の作付のほか、6次産業化にも取り組んでいる農業法人で、農林水産大臣より農業経営改善計画の認定を受け、栃木県を拠点に活動しておりますが、今回は、県内大崎市の支店従業員が耕作を行う予定となっております。</p> <p>賃借人の農地等利用計画書や保有している機械の能力から、農地の全てを効率的に利用できるものと見込まれ、許可については妥当との意見で一致しました。</p> <p>以上のとおり報告します。</p> <p>令和4年8月25日</p> <p style="text-align: right;">現地調査委員 2番 佐々木 まき子 委員 3番 櫻井 利光 委員 6番 阿部 晃徳 委員</p>
議長	<p>調査報告が終わりました。</p>
議長	<p>地域との調和要件については、担当委員に対し事前に資料を送付し、確認していただくことにしておりましたが、支障等について自席で発言をお願いします。</p>

議長	<p>進行番号1番について、2番 佐々木 まき子 委員</p> <p>《支障なしの声を確認》</p>
議長	<p>進行番号2番について、18番 三塚 芳毅 委員</p> <p>《支障なしの声を確認》</p>
議長	<p>進行番号5番について、8番 佐藤 瑛彦 委員</p> <p>《支障なしの声を確認》</p>
議長	<p>進行番号6番について、19番 芳賀 秀二 委員</p> <p>《支障なしの声を確認》</p>
議長	<p>進行番号7番について、15番 五十嵐 幸喜 委員</p> <p>《支障なしの声を確認》</p>
議長	<p>進行番号8番について、9番 鈴木 巖 委員</p> <p>《支障なしの声を確認》</p>
議長	<p>地域との調和要件について支障等はないようですので、これより質疑を行います。</p> <p>質疑はございませんか。</p>
18番委員	<p>実はこの案件につきまして、先日、田崎委員さんのほうからちょっと連絡がありまして、何か農地をユンボで掘り起こしているよ、ということで、連絡を受けまして、田崎委員さんと一緒に見に行ってきた経過がございます。</p> <p>その時、その現場にいた方に聞いてみましたらば、開発をするんだけども土器かなんか出たので、文化財のほうの調査をするということで、今ストップしているというお話がありました。</p> <p>そのことが頭にあったもんですから、実は昨日、現場をちょっと見て来ました。</p> <p>確かに書類等は大変立派な書類そろえてありますけれども、一つ気になったことがございます。それは、説明資料の17ページなんですけれども。17ページの左側の下のほうの5番ですけれども、現在の農地における年間収支ということで、生産に係る経費が6,000万、生産収入が8,300万、そして今回申請地を含む全ての農地における年間収支ということで、生産に係る経費は1億円、生産収入は1億5,400万ということで、だいぶ数字がちょっと違っているじゃないかな、</p>

	<p>ということで聞いてみたんですけれども、その辺は何かもっと他の土地でも開発をしてるとか、そういうことがあったんでしょうか。その辺、ちょっとお伺いしたいと思います。</p>
議長	<p>三塚 芳毅 委員さん、ちょっとお待ちくださいね。 ちょっとだけ休憩します。</p> <p>《 休 憩 》</p>
議長	<p>再開します。では、事務局から。</p>
事務局	<p>今回ご相談を受けている内容につきましては、先ほどの17ページのところの利用計画書というようなことになってきます。</p> <p>会社の部分で、今、表記されている部分については、現在の農地に関わる収支の関係とか、後は農業経営の部分のみ、この会社の全体のものの捉えになってくると思います。</p> <p>あくまで右側にある部分については、あくまで予定値になってきますので、例えば今回、営農型の部分が始まったときにマニュアル的なものも、自分も含めて、マニュアルというかこれからの予定として、あくまで換算は出来るような数字でしかいけないので、今はここの実績にあがる数字的なものについては、かけられるようなものではないので、あくまで予定です、ということしかお伝えは出来ないかと思います。</p>
事務局	<p>私のほうから補足をさせていただきたいと思います。</p> <p>大変申し訳なかったんでありますけれども、この年間収支の部分ですね、詳しく会社のほうからの聞き取りをしている状況ではございません。ただですね、見る限りということにはなる訳なんです、現在の農地、これ年間収入ということで、会社の昨年度までの生産の収支が、向かって左側のほうに、それから今年度の農地の部分も含めましてですね、右側のほうにそれを加えた年間の収支ということかと思われませんが、なお、この会社に直接その辺りを確認を取ってまいりたいというふうに考えております。</p>
議長	<p>三塚 芳毅 委員さん何か、今の説明でよろしいですか。 調べてみるということで。</p>
18 番委員	<p>はい。</p>
議長	<p>それでは、12 番 阿部 静男 委員さん、どうぞ。</p>
12 番委員	<p>いわゆる進行番号3番、4番関連でお伺いしたいと思います。 今回、進行番号3番なんですけれども、普通の農家がやれるような技ではない</p>

	<p>とっています。ということは、農地法第3条第3項の特例規定を巧みに利用した申請内容に私は捉えた訳でございます。それで、この会社なんですけれども、全国展開がどのようになされているか、これを1点目お伺いしたいと思います。</p> <p>それで2点目なんですけれども、この法人は主たる活動目的は何なのか。いわゆる計画書では、麦、野菜、水稲となっていますけれども、果たしてこれだけの作物でこれだけの粗収入をあげることが出来るものなのか、その辺をお伺いしたいと思います。</p> <p>3つ目なんですけれども、同じ農地、太陽光を設置すると、それも営農型ということなんですけれども、なぜこのような複雑な方法を取らなければならないのか、その辺を受付した段階でどう捉えたのか、その辺をお伺いしたいと思います。</p> <p>4つ目なんですけれども、例えばこの進行番号3番の解除条件付きの3条の賃貸借なんですけれども、これが解除、例えば要綱とか何か違反して解除した場合、契約解除した場合、実際に残るのは3条区分の地上権だけなんですよね。その場合、いわゆるここで地域の方々との農業の展開をしていく、コミュニティを図っていくというんだけど、その点はどうなのか、その辺をお伺いしたいと思います。</p> <p>じゃあ、4つ、お伺いしたいと思います。</p>
議長	<p>一旦、休憩します。</p> <p style="text-align: center;">《 休 憩 》</p>
議長	再開します。
事務局	<p>他の自治体につきましては、栃木県や福島県を中心とした自治体でも複数取り組んでいると思われまます。</p> <p>収入につきましては、水稲や麦、野菜、第6次産業に関して取り組んでいるものと聞き取りをしております。</p> <p>以上となります。</p>
議長	<p>もっとあったよね。質問、もう2つあったよね。</p> <p>阿部 静男 委員さん、ちょっとお待ちください。</p> <p>休憩します。</p> <p style="text-align: center;">《 休 憩 》</p>
議長	再開します。事務局、説明願います。
事務局	<p>どうして複雑な方法を取っているかにつきましては、営農型太陽光について、国からの方針が定められているため、それに則って行っている結果、今回の申請のような形になりました。</p> <p>解除条件について、地上権だけ残るということは通常出来ませんので、もし、</p>

<p>12 番委員</p>	<p>解除条件に抵触してしまった場合につきましては、農地復旧という形で、地上権のほうも解約するというふうな形になるのかな、と思われます。</p> <p>以上です。</p> <p>今、3条の地上権解除になった場合は、賃貸借は解除になった、それで地上権も同時に解除だということなんですけれども、この3番と4番は同じ地番なんですよね。これに2つの会社が名義は違うけれども1人の代表者で2つの会社です。ですから、3番、4番の議案を申請していると思うんですよ。そうすると、議案というのは、あくまでもセットで申請、提案するのだから、今回のように進行番号3番、4番というように一つ一つ提案して、例えばその中で3条の解除条件が解除された、と。解除されたならば地上権も解除になって復旧する、と。現状復旧するということは、農地法上第何条第何項に謳ってあるんですか。実際にこの人がやっているのは、農地法の第3条の3項の特例を使って申請してるんだよ、ここ。この人はそこを見越してやってるんだよ。だから地上権だけ残る。残るから解除になるんでしょうけれども、これは一体的になるというのは、農地法の第何条に書いてあるの。</p> <p>農地法第3条の第3項の第1号見てみらいん、農地法第3条2項の2号と4号は認めるっていうことになってるんだから。</p>
<p>議長</p>	<p>阿部 静男 委員さん、ちょっとお待ちくださいね。</p> <p>一旦、休憩します。</p> <p>《 休 憩 》</p>
<p>議長</p>	<p>それでは再開します。事務局、説明願います。</p>
<p>事務局</p>	<p>今、阿部委員にお話いただいたとおり、3条の2項の1号のほうに載っているということです。</p>
<p>議長</p>	<p>何だか分からないという声があるので、もう1回。</p>
<p>事務局</p>	<p>今の権利関係、地上権の関係でございますが、農地法の3条のどこに記載されているのかということでございまして、3条の2項のほうに条文として載っているということでお答えさせていただきます。</p>
<p>事務局</p>	<p>補足でお話しさせていただきます。</p> <p>営農型の基本的な考えを説明させていただきたいと思います。</p> <p>今回のケースだと、支柱があるもの、田んぼの中に支柱があってパネルがあるわけなんですよね。中田のすぐ近くにもありますけれども。そういった時に、まず支柱部分が5条で潰すものです。農地以外のものにするものですね。次に、3条で2件来ていると思います。同じ案件が出てたと思いますけれども、一つは下</p>

部の部分、パネルから下の部分の営農の部分、これは農地なんですよ、作付する部分。さらに、2メートル以上のこのパネルあるこの区間ですね、この地上権ということが欲しいわけなんですよ。

その中で、営農型やる時に、地上権も付則でやってください、という通知が、平成30年頃に来てます。だから、下の部分の下部だけではなくて、地上権もやってくださいね、という、こういう流れになってます。であるので、その部分、2件出てると思います。賃貸借と地上権と。こういうケースがほとんどなんですよ。で、その場、その場によって違くなっているとは思いますが、今回あるやつの内容でまず出てきているのがそういうケースになりますので、それを含めて説明だけさせていただきたいと思います。

19 番委員

今、柴崎委員さんとかともお話をしたんですけども、それで理由は分かるんですけども、3番と4番、3番が土地のほう、4番が地上権のほうの貸借になってるんですけども、地上権が反当1万5千円も貸借で出すのに、どうして土地が反当547円なのか、おかしいんじゃないかな、と。農用内のいくら田んぼでない畑と言っても、反当で547円の貸借料というのは何かあり得ない。でしたら、かえってそちらに関しては農業委員会が毎年だいたいの平均値出しているんですけども、これはちょっと委員会としては了承できない部分じゃないのかなとは思うんですけども。

これ結局、5条申請でちっちゃい杭の分、こっちが平米当たり151円ということで、平米じゃないんですよ、アールなんですよ、10アールですよ、547円。平米だったら分かるんですけど。一反547円というのはちょっと承認出来ないんじゃないかなと思うんですけども。

議長

10分、休憩します。

《 休 憩 》

議長

再開しますが、この案件については今、会社のほうと電話連絡して、皆さんから色々ご指摘のあった部分、3番と4番の金額の部分が逆転すれば本当はいいんでしょうけれど、この数字がいきっていくとまずい部分はあるんですけど、そんなこんなで今、会社と連絡取り合ってますから、この件についてはちょっと置いておいて、次の案件から進めさせていただいて、あちらから電話が来る予定になっていますので、そのように進めさせてもらってよろしいですか。

《異議なしの声を確認》

議長

それでは、日程の9番に入ります。

日程第9、議案第34号「農地法第4条の規定による許可申請に対する意見の決定について」、日程第10、議案第35号「農地法第5条の規定による許可申請に対する意見の決定について」を一括議題とします。

議長	事務局から説明を求めます。
事務局	<p>《事務局説明》</p> <p>本議案に係る申請は、第4条申請が1件、第5条申請が12件です。適用法令等を確認したところ、農地法第4条第6項各号及び農地法第5条第2項各号の規定に該当せず、いわゆる許可基準である一般基準及び立地基準を満たしており、許可要件の全てを満たしていると思われます。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
議長	説明が終わりました。
議長	<p>ここで、現地調査委員から調査結果の報告を求めます。</p> <p>はじめに、第1分科会の報告を登壇してお願いいたします。</p> <p>6番 阿部 晃徳 委員</p>
6番委員	<p>農地法第4条の進行番号1番については、別紙議案説明資料19ページから21ページに記載されているとおりです。</p> <p>申請内容は、申請地に営農型太陽光発電施設を設置するもので、農地区分としては農用地区域内にある農地で、原則的には転用許可ができない農地ですが、例外的に許可することができる一時的な転用であって、かつ、当該利用目的を達成する上で当該農地を供することが必要であると認められることから、転用における周囲への影響も見受けられず、転用は妥当との意見で一致しました。</p> <p>農地法第5条の進行番号1番については、別紙議案説明資料22ページから24ページに記載されているとおりです。</p> <p>申請内容は、申請地に薪剪定作業スペース及び薪置場を整備するもので、農地区分としては、第1種農地で、原則的には転用許可ができない農地ですが、例外的に許可することができる、集落に接続して設置されるものであり、転用における周囲への影響も見受けられず、転用は妥当との意見で一致しました。</p> <p>進行番号2番については、別紙議案説明資料25ページから27ページに記載されているとおりです。</p> <p>申請内容は、申請地に駐車場を整備するもので、農地区分としては、市街地化の傾向が著しい区域内にある農地であり、都市計画区域の用途地域内である、第3種農地と判断され、転用における周囲への影響も見受けられず、転用は妥当との意見で一致しました。</p> <p>進行番号3番については、別紙議案説明資料28ページから30ページに記載されているとおりです。</p>

申請内容は、申請地に営農型太陽光発電施設を設置するもので、農地区分としては、農用地域域内にある農地で、原則的には転用許可ができない農地ですが、例外的に許可することができる一時的な転用であって、かつ、当該利用目的を達成する上で当該農地を供することが必要であると認められることから、転用における周囲への影響も見受けられず、転用は妥当との意見で一致しました。

進行番号4番については、別紙議案説明資料31ページから33ページに記載されているとおりです。

申請内容は、申請地に貸駐車場を整備するもので、農地区分としては、申請地の300メートル以内に鉄道の駅がある農地であるため、第3種農地と判断され、転用における周囲への影響も見受けられず、転用の要件は満たされており。

また、申請地は既に農外利用されていることから、申請人より始末書を徴し、やむを得ず転用は妥当との意見で一致しました。

進行番号5番については、別紙議案説明資料34ページから36ページに記載されているとおりです。

申請内容は、申請地に土木用重機及びダンプ置場を整備するもので、農地区分としては、農業の公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い農地であることから、第2種農地と判断され、転用における周囲への影響も見受けられず、転用は妥当との意見で一致しました。

進行番号6番、7番については、別紙議案説明資料37ページから39ページ、40ページから42ページに記載されているとおりです。

申請内容は、申請地に太陽光発電施設を設置するもので、農地区分としては、農業の公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い農地であることから、第2種農地と判断され、転用における周囲への影響も見受けられず、転用は妥当との意見で一致しました。

進行番号8番については、別紙議案説明資料43ページから45ページに記載されているとおりです。

申請内容は、申請地に居宅を新築するもので、農地区分としては、第1種農地で、原則的には転用許可ができない農地ですが、例外的に許可することができる、集落に接続して設置されるものであり、転用における周囲への影響も見受けられず、転用は妥当との意見で一致しました。

以上のとおり報告します。

令和4年8月25日

現地調査委員 2番 佐々木 まき子 委員

3番 櫻井 利光 委員

6番 阿部 晃徳 委員

議長	<p>次に、第2分科会の報告を登壇してお願いいたします。</p> <p>13番、鈴木 泰子 委員</p>
13番委員	<p>登米市農業委員会第2分科会に係る現地確認調査は、令和4年8月22日、午後1時30分から委員3名により、事務局職員の案内で実施いたしました。その調査結果について報告します。</p> <p>農地法第5条の進行番号9番については、別紙議案説明資料46ページから48ページに記載されているとおりです。</p> <p>申請内容は、申請地に太陽光発電施設を整備するもので、農地区分としては、農業の公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い農地であることから、第2種農地であり、転用における周囲への影響も見受けられず、転用は妥当との意見で一致しました。</p> <p>進行番号10番については、別紙議案説明資料49ページから51ページに記載されているとおりです。</p> <p>申請内容は、申請地に居宅を新築するもので、農地区分としては、農地区分としては、市街地化の傾向が著しい区域内にある農地であり、都市計画区域の用途地域内である、第3種農地と判断され、転用における周囲への影響も見受けられず、転用は妥当との意見で一致しました。</p> <p>進行番号11番については、別紙議案説明資料52ページから54ページに記載されているとおりです。</p> <p>申請内容は、申請地において、現在操業している営農型太陽光発電事業を継続するため、一時転用許可期間を更新するもので、農地区分としては農用地区域内にある農地で、原則的には転用許可ができない農地ではありますが、例外的に許可することができる一時的な転用であって、かつ、当該利用目的を達成する上で当該農地を供することが必要であると認められることから、転用における周囲への影響も見受けられず、転用は妥当との意見で一致しました。</p> <p>進行番号12番については、別紙議案説明資料55ページから57ページに記載されているとおりです。</p> <p>申請内容は、申請地に駐車場を整備するもので、農地区分としては、第1種農地で、原則的には転用許可ができない農地ではありますが、例外的に許可することができる、集落に接続して設置されるものであり、転用における周囲への影響も見受けられず、転用の要件は満たされており、</p> <p>また、申請地は既に農外利用されていることから、申請人より始末書を徴し、やむを得ず転用は妥当との意見で一致しました。</p> <p>以上のとおり報告します。</p>

令和4年8月25日

現地調査委員 15番 五十嵐 幸喜 委員
16番 尾張 勝 委員
13番 鈴木 泰子 委員

議長

調査報告が終わりました。

議長

これより、議案第34号、議案第35号について、一括して質疑を行います。
質疑はございませんか。

18番委員

第5条の3番のやつ、先ほどから問題になっている太陽光設備の案件なんですけれども、これ、ちょっと除いておいてもいいんじゃないでしょうかね。
これだけ許可してしまって、仮に前のやつがダメになっちゃうと、ちょっと変な方向になると思うんですけれども。

議長

今、三塚 芳毅 委員さんからご指摘ありましたけれども、11ページの3番の件については、ちょっとこれは保留にしておきます。それ以外についての質疑ということで、これは除きます。
よろしいですか。

《異議なしの声を確認》

議長

それでは、11ページの3番を除き質疑を行います。
質疑はございませんか。

《質疑なしの声を確認》

議長

質疑なしと認めます。
これで質疑を終わります。

議長

これから議案第34号を採決します。
お諮りします。
本案は、許可相当との意見を付すことに、ご異議ございませんか。

《異議なしの声を確認》

議長

異議なしと認めます。
よって、議案第34号「農地法第4条の規定による許可申請に対する意見の決定について」については、許可相当との意見を付し、知事に送付することにいたします。

議長	<p>次に、議案第 35 号であります。ただ今、申し上げたとおり、3 番除きで採決します。</p> <p>お諮りします。</p> <p>本案は、許可相当との意見を付すことに、ご異議ございませんか。</p> <p>《異議なしの声を確認》</p>
議長	<p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、議案第 35 号「農地法第 5 条の規定による許可申請に対する意見の決定について」の進行番号 3 番を除く案件については、許可相当との意見を付し、知事へ送付することにいたします。</p>
議長	<p>日程第 11、議案第 36 号「非農地証明願について」を議題とします。</p> <p>事務局から説明を求めます。</p>
事務局	<p>《事務局説明》</p> <p>本議案に係る申請は、証明する要件を満たしていると思われまます。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
議長	<p>説明が終わりました。</p> <p>農地利用状況調査結果に基づく非農地証明願については、非農地証明書交付事務処理要領第 5 条ただし書きにより、現地調査を省略しております。</p>
議長	<p>これより質疑を行います。</p> <p>質疑はございませんか。</p> <p>《質疑なしの声を確認》</p>
議長	<p>質疑なしと認めます。</p> <p>これで、質疑を終わります。</p>
議長	<p>これから議案第 36 号を採決します。</p> <p>お諮りします。</p> <p>本案は、願出のとおり証明することに、ご異議ございませんか。</p> <p>《異議なしの声を確認》</p>
議長	<p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、議案第 36 号「非農地証明願について」は願出のとおり証明することに決定しました。</p>

議長	<p>日程第 12、議案第 37 号「農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の決定について」を議題とします。</p>
議長	<p>本案件については、所有権移転が 6 件、一括方式が 2 件となっております。</p>
議長	<p>事務局から説明を求めます。</p>
事務局	<p>《事務局説明》 本案に係る申請については、適用法令を確認したところ、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項の各要件をすべて満たしていると思われまます。 以上で説明を終わります。</p>
議長	<p>説明が終わりました。 これより質疑を行います。 質疑はございませんか。</p>
	<p>《質疑なしの確認》</p>
議長	<p>質疑なしと認めます。 これで質疑を終わります。</p>
議長	<p>これから議案第 37 号について採決します。 お諮りします。 本案は原案のとおり決定することに、ご異議ございませんか。</p>
	<p>《異議なしの声を確認》</p>
議長	<p>異議なしと認めます。 よって、議案第 37 号「農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の決定について」は、原案のとおり決定しました。</p>
議長	<p>日程第 13、議案第 38 号「農地利用状況調査に伴う非農地判断について」を議題とします。 事務局から説明を求めます。</p>
事務局	<p>《事務局説明》 この案件につきましては、令和 3 年度の農地利用状況調査で 6 判定（山林原野化）と判定された農地をさらに精査した後に、土地の所有者宛に非農地の判断に係る事前通知書及び再利用の意向申出書を送付し、再利用の意向の申出があった農地を除外して、今回の議案としております。 非農地と判定した場合には、土地所有者に対し、非農地通知書を送付し、市及</p>

<p>議長</p>	<p>び県、法務局へ非農地判定を行った旨を通知し、農地台帳を整理することになります。</p> <p>以上で説明を終わります。</p> <p>説明が終わりました。</p> <p>これより質疑を行います。</p> <p>質疑はございませんか。</p> <p>《質疑なしの声を確認》</p>
<p>議長</p>	<p>質疑なしと認めます。</p> <p>これで、質疑を終わります。</p>
<p>議長</p>	<p>これから議案第 38 号を採決します。</p> <p>お諮りします。</p> <p>本案は、原案のとおり非農地として決定することに、ご異議ございませんか。</p> <p>《異議なしの声を確認》</p>
<p>議長</p>	<p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、議案第 38 号「農地利用状況調査に伴う非農地の判断について」は原案のとおり非農地として決定することにいたしました。</p>
<p>議長</p>	<p>以上で、日程は終わる予定でございましたけれども、事務局が先ほどの件で連絡を取り合っている最中ですので、ここで休憩させていただきます。</p> <p>《休 憩》</p>
<p>議長</p>	<p>それでは再開いたします。</p> <p>すみません、長らくお待たせいたしました。</p> <p>先ほどの件でございますが、議案第33号の件を最初に説明させますので、事務局説明願います。</p>
<p>事務局</p>	<p>大変遅くなりまして申し訳ございません。</p> <p>議案第33号の進行番号 3 番、4 番の関係でございます。</p> <p>3 番の賃借料の関係でございますが、営農型の太陽光の発電設備という関係で、トータル的に見ていただきたいということのようでございます。</p> <p>なお、賃借料につきましては、547円と、1 年間という設定でございますが、この低いというご意見がございましたが、今まで高い賃借料についても賃借料の金額のことで許可をしないというようなことはございませんでした。</p> <p>なお、昔は標準小作料ということがございまして、ある程度小作料に関しては</p>

	<p>勧告等ができるということでございましたが、今、小作料については双方の合意の中で決めていただくということになっておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>なお、賃借料情報等につきまして、ご心配いただいておりますが、こちらにつきましては高い金額、低い金額を除いた額で、平均額を出しているという状況になっておりますので、参考までにご説明させていただきます。</p> <p>以上でございます。</p>
議長	<p>それでは追加で、事務局長さんから説明をお願いします。</p>
事務局	<p>ただ今、本件に関しましてですね、長時間お時間をいただきまして、大変申し訳ございません。</p> <p>私のほうでただ今、担当に代わりまして会社様、先方とお話をさせていただいたところでございます。そうしましたら、ただ今、次長が申し上げましたとおりですね、賃借権それから地上権、この2つトータルで金額で見たいというふうなご回答でございました。</p> <p>と言いますのは、このそれぞれの会社ですね、同じであれば、関連会社ではございますけれども別会社というふうなことでございまして、同一会社であれば、すぐに金額の関係を逆転させるというふうなことも可能というふうなことでございまして、それぞれ3番、4番、それぞれ会社が違うというふうなことでございましてですね、今回につきましては、トータルの金額1万5,665円が賃借料と地上権の金額、合わせたトータル金額ということになってございますので、この金額で、今回につきましてはお認めを頂きますようお願いを申し上げたいと思ひます。</p> <p>なお、こうした案件、これから太陽光、増えて参ると思ひますので、私どもも十分注視をして、一般よりも低い金額、あるいは高すぎる金額、そうしたものがございました時には、担当の手を止めまして指示をして参りたいというふうに思ひますので、今回につきましては、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。</p>
議長	<p>今、事務局長から説明がありましたけれども、芳賀 秀二 委員さんよろしいですか。</p> <p>納得のいかない部分はあるかもしれませんけれども。</p> <p>今後は十分、気をつけながらやっていくということでございますので、よろしく理解のほどお願ひしたいと思ひます。よろしいですか。</p>
19 番委員	<p>はい。</p>
議長	<p>その他、質疑はございませんか。</p>
1 番委員	<p>今のお話ですと、トータルで考えて欲しいということでございますけれども、実はこの議案説明資料の2ページですね、2番に許可を受けようとする土地の所</p>

事務局	<p>在地等(土地の登記事項証明書を添付してください)と書いてあるところの対価、賃料等の額ということで、10アール当たりの額が5,468円とあります。</p> <p>これはどういうことなんですか、そうしますと。</p> <p>この議案説明資料の5,468円でございますが、会社に確認しましたところ、これは10年間の金額だというようなことでございまして、年間に直しますとですね、議案書にありますとおり547円の設定というようなことでございます。金額的にはもうただ同然かなというようなことでございますが、今回につきましてはお認め頂きますように、どうぞよろしくお願いを申し上げます。</p>
議長	<p>岩淵 勉 委員さん、よろしいですか。</p> <p>数字のトリックみたいな感じで大変申し訳ないですが。</p>
1 番委員	<p>はい。</p>
議長	<p>その他、質疑はございませんか。</p> <p>《質疑なしの声あり》</p>
議長	<p>質疑なしと認めます。</p> <p>これで、質疑を終わります。</p>
議長	<p>これから、議案第 33 号を採決します。</p> <p>お諮りします。</p> <p>本案は、申請のとおり許可することに、ご異議ございませんか。</p> <p>《異議なしの声を確認》</p>
議長	<p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、議案第 33 号「農地法第 3 条の規定による許可申請について」は申請のとおり許可することに決定しました。</p>
議長	<p>次に、三塚 芳毅 委員さんからご指摘のありました、第 5 条ですけれども、議案第 35 号、進行番号 3 番についてもお諮りします。</p> <p>本案は、許可相当との意見を付すことに、ご異議ございませんか。</p> <p>《異議なしの声を確認》</p>
議長	<p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、議案第 35 号「農地法第 5 条の規定による許可申請に対する意見の決定について」についての進行番号 3 番についても、許可相当との意見を付し、知</p>

議長	<p>事に送付することにいたします。</p> <p>以上で、本日の日程は、すべて終了しました。</p> <p>これで、令和4年度第5回登米市農業委員会総会を閉じます。</p>
議長	

上記のとおり、相違ないことを証明する。

令和4年8月25日

議長(会長) 高橋 清範

議事録署名人 5番 田島 幹雄

議事録署名人 6番 阿部 晃徳